

現地の声に耳をすませて —国際看護ってなに?—

看護師や助産師として、国際看護といわれる活動にたずさわっている人たちがいます。海外や日本国内で、異なる言語や文化をもった人に対しておこなう看護活動のことです。

今回は、中央アフリカ共和国で看護活動を経験した方々をお招きし、国際看護について、それぞれの経験や考えをお話していただきます。国際看護について多くの人が一緒に考えていくちょっとした機会になれば、と思います。

パネリスト（五十音順）

岡部紀代子さん

（看護師, 訪問看護ステーション千代田）

加藤章子さん

（助産師, 東京医療保健大学東が丘・立川看護学部）

河野小夜子さん

（助産師, 聖母看護学校）

高塚綾子さん

（看護師, 東京慈恵会医科大学医学部看護学科）



2014年

日時：**10月12日(日)**
13:30-16:00
(参加無料・予約不要)

会場：**カトリック高槻教会**
右近会館大ホール

高槻市野見町2-26 (<http://www.catholic-takatsuki.jp/index.html>)

<予定>

パネリストによるトーク、参加者からの質問

問い合わせ

- ・メール：yukushib@otemon.ac.jp
(榎引祐希子・追手門学院大学国際教養学部講師)
- ・電話：06-6210-4008 (YogiYogi、吹田の雑貨屋です。
「国際看護トークイベントの件」とお尋ね下さい。)

主催：中央アフリカについて考える会 (代表：内海博文)

www.golf-baxter.com/yogiyogi/centrafrique/

共催：社会活動委員会 (カトリック高槻教会)

